

編集：北海道民主医療機関連合会

〒001-0014
札幌市北区北14条西3丁目1-12
TEL 011-758-5344
FAX 011-746-5449
E-mail igakusei@dominiren.gr.jp
発行 イチ・ム・ティカ協同組合



The Magazine for Those Who Expect to Be Doctors

若手医師があなたの 質問に答えます

患者さんの笑顔がやりがいい

Q1. 医師を目指したきっかけはなんですか？

私の母は看護師ですが、両親が共働きだったため母が病院に私を連れて仕事に行っていた時期がありました。

そこで働く母の姿を見て医療に従事する仕事に魅力を感じました。中でもそこで見ていた医師は皆、医療スタッフや患者さんにとっても頼りにされており、素敵な職業だなと感じたのがきっかけです。受験勉強は手強かったですが、医師として働く自分を想像してモチベーションを保ちました。合格したときは本当に嬉しかったです。

Q2. 医学部の6年間でどんなことを勉強しましたか？

外科、内科、小児科、産婦人科など各科の病気やそのメカニズム

などを詳しく勉強することが中心でした。皆さんのように授業形式で勉強することもあれば、実習といって病院で患者さんのご協力を頂きながら診察の勉強をすることもありました。

また大学によって異なりましたが、その合間に救急車やドクターヘリに実際に乗ってみるといっておもしろいような体験実習もありました。ドクターヘリに乗ったことは印象に残っていますね。

医療現場では患者さんの主訴から鑑別診断（かかっている病気を診断するにあたり、可能性がある複数の病気を比較しながら、合理的に特定すること）をしなければなりません。学生時代にこの勉強があまり出来なかったのでもっとやっておけば良かったなと思います。

—はじめまして！北海道民医連です。

「夢Dream」はこれから医師を目指す皆さんに役立つ情報を発信しています。今回は「実際に医学部ってどんなところなの？」「医師になってからどんな生活しているの？」など、勤医協中央病院（札幌市）の初期研修医にインタビューしました。—



とちくほ
栢窪 あい 藍医師

北海道美唄市出身。
岩見沢東高校卒業後、山形大学医学部に入学。2013年卒。
現在、勤医協中央病院で初期研修中。いま一番興味があるのは心臓血管外科。

（2面に続く）



勤医協中央病院に入職した時の栢窪医師

Q3. 学生時代に部活動やアルバイトはしましたか？

ソフトボール部のマネージャーとダンス部に所属していて、塾講師や喫茶店などでアルバイトをしました。医学部のような専

門性の強い大学はある意味特殊な環境で、一般的な社会常識を学べる機会が少ない気がしていたので、様々な人と関われるようなアルバイトを選んでいました。おこづかい稼ぎもできたので一石二鳥です(笑)

Q4. リラックスできるときはどんなときですか？ またお休みはありますか？

同期や地元の友人とおしゃべりしている時、実家の犬と寝ている時や、ピアノを弾いている時です。あとは、色々なカフェに行くのが好きなので、そんな時もリラックス出来ます。

お休みの日は、当番の先生方が交代で患者さんを診てくださるので、きちんとお休みをとることが出来ます。医師は患者さんの安全のためにも休息は必要です。みんなが平等に休めるように助けて合せて診療にあたっています。

次につなげるための振り返りはとても大切なことです

Q5. 患者対応で気をつけていることはなんですか？

病院を受診する患者さんは、自分より年上の方がほとんどです。なので、一社会人として年上の方に対する礼儀や敬意を忘れないように心がけています。また



同期とおしゃべり。研修や趣味の話など、話題がつきない。

患者さんの人生にとって自分と関わる時間はほんの一時期であることが多いですが、短い関わり期間だからこそ、そこで患者さんが不快な思いをさせないように病状や治療について対応、説明できるように心がけていますね。

Q6. 大変なことを苦勞していることを教えてください。

まだまだ勉強も経験も不足しているので、そのせいで患者さんだけでなくスタッフにも迷惑をかけることが多いです。自

分で選択した治療方針が本当に良かったのか不安になることもありますし、実際に患者さんがスムーズに回復しない時もあります。だからこそ振り返りをしっかりして、次につなげています。

栢窪先生の1日のスケジュール

- 6:00 起床
- 7:00過ぎ 出勤
~昨日の振り返りや勉強をする~
- 8:00 業務開始
~診察、検査や治療、入院患者の家族に病状説明などをする~
- 12:30 お昼休憩
~同期と楽しく食事~
- 13:30 午後の業務開始
~疲れたりちょっと休憩。お菓子を食べてリフレッシュ~
- 19:00 業務終了
~その日の振り返りやわからなかったことを復習する~
- 20:00 帰宅
~漫画やテレビを見たり、食事をしてのんびり過ごす~
- 28:00 就寝

Q7. 医師としてのやりがいは何ですか？

笑顔を見ると医師になれて良かったと思います。患者さんが元気になるためのお手伝いを少しでもさせてもらえることにやりがいを感

Q8. インタビューを終えて

学生時代には医学の勉強だけではなく、部活・アルバイトなど様々な経験をするのも大切なんですね。ぜひみなさんもたくさんの人と関わり、いろいろな経験をjして充実した学生生活を送ってください(編集部)

一緒に学びませんか? ~私たち民医連の医学生活動~

話題のニュースをみんなで学習

札幌と旭川では毎月一回あつまり、みんなで大学の授業カリキュラムに合わせたランチをとりながら大学の授業、サークル・イベントの相談などを行っています。これをランチミーティングと呼んでいます。

参加は1年生から6年生まで、学年を超えて交流できるのがランチミーティングです。

学校では教えてくれないことがたくさん

札幌と旭川では毎月医学生を対象とした学習会「医学生ミーティング」を開催しており、今号では旭川の紹介をします。旭川医大の近くのアパート通称ID

OB A(いどば)では学校の勉強をしている時もありますが、学校では学習できない事も学んでいます。この学習会を「医徒場楽☆ミーティング」(いどばた☆みーていんぐ)と呼んでいます。2013年は「(医学生になって)身内から医学的な相談を持ちかけられたとき」や『終末期医療』『栄養

地域に飛び出してみよう

病院を飛び出して、患者さんの住んでいる地域に足を運び、生活状況や地域の特性を知ろうという企画(フィールドワーク)を開催しています。

これまでに炭鉱の町上砂川や苫小牧・室蘭



北大ランチミーティングの様子。1年生から6年生まで楽しく交流している。

患者のすべてを診るために

勤医協中央病院 医師 出倉 康裕



私が感じた奨学生活動の魅力は何と言っても大学で学べないものが学べることだと思います。私達が医師として相手にするのは社会のあらゆる人々ですが、大学病院に来る人はたった1%と言われてしまいます。つまり99%の人々を私達は知らずに学生生活を送るのです。

奨学生活動では、地域に飛び出し地域の人々と直に触れ合うことで大学とは違う切り口で考えていくことができます。ぜひ私達と一緒に広い視野を持った懐の深い医療人を目指しましょう!

かけがえない体験

旭川医科大学 佐々木 啓太



みなさんはどうして医学部を目指そうと思いましたが? テレビでかっこいい医師の話を見たり、素晴らしい医師に出会っていたり、理由は医学部を目指す人の数だけあると思います。医学部を目指したからには「こんな医師になりたい」という理想の医師像があると思います。医学の勉強をしていけば、それはより大きくなると思います。その思いを広げるチャンスか?

奨学生活動では、学外に出て学べる機会がたくさんあります。学生のうちにしかできないことを僕たちとともに体験しませんか?



医徒場楽☆ミーティングの様子。楽しく議論している。

はじめまして、^{みんないれん}民医連です。 ～私たちはあなたを応援します～

北海道民医連の紹介

1946年、「いつでも・どこでも・だれもが安心してよい医療を」の願いから、医療に恵まれない人たちのための診療所が設けられました。それ以来、北の大地に根をおろし、病める人々や地域住民と手を携えて歩み続け、やがて診療所が病院となり、全道へと点在するようになり、北海道民医連が生まれました。

病院・診療所、訪問看護ステーション、老人保健施設など、医療・介護のネットワークを広げ、地域に密着した医療・福祉活動を展開しています。

見学・体験にきませんか？

私たちの病院・診療所は1年生から医学生実習を受け入れています。札幌にある勤医協中央病院など数ヶ所のほか、道内各地に北海道民医連の病院・診療所があります。

訪問診療や地域住民との懇談を通しての診療所実習や外来実習、救急外来見学、手術見学など皆さんの希望に沿った実習が人気です。

研修医と昼食をとりながら懇談するのもいい経験になりますよ。是非、気軽に相談してみてください。



お問い合わせ・お申し込みは

勤医協中央病院 医学生課

札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1
TEL:011-780-3346
E-mail: chuou-hp@dominiren.gr.jp



道北勤医協一条通病院 医局課

旭川市豊岡1条1丁目7-3
TEL:0166-34-2111 (内線2608)
E-mail: 1-jou@dominiren.gr.jp



奨学貸付金制度のご案内

月額

120,000円

北海道民医連では「北海道で、住民の立場に立つ・親切で良い医療を行う医師」をめざす医学生への援助を目的として、奨学貸付金制度を設けています。

奨学生には毎月奨学金が貸与され、奨学生会議（医学生ミーティング）のほか、全道各地にある民医連の病院・診療所での実習や地域フィールドなどに優先的に参加することができます。

北の大地で医師をめざす皆さん。北海道民医連の奨学生になって一緒に学び、充実した学生生活を送りませんか。

【お問い合わせ】

北海道民医連 札幌市北区北14条西3丁目1-12 TEL:011-758-5344
E-mail igakusei@dominiren.gr.jp

